

令和7年度第2回 八千代市障害者自立支援協議会

日時：令和7年11月27日(木)

10時00分から

場所：八千代市福祉センター4階 第3・4会議室

傍聴人

千葉県相談支援従事者現任研修
研修受講者見学

会長

副会長

吉野
委員

森田
委員

淵田
委員

秋葉
委員

檜垣
委員

仲村
委員

石田
委員

伊藤
委員

木村
主査

大橋
主査

木村
副主幹

神代
課長

三島
副主幹

櫻井
主査

菅野
主事

武田
主事

機材

奥山
委員

中村
委員

大庭
委員

阿利
委員

小野
委員

小原
委員

國島
委員

㈱シティ・
プランニング

㈱シティ・
プランニング

令和 7 年度第 2 回 八千代市障害者自立支援協議会次第

日 時 令和 7 年 1 1 月 2 7 日（木） 1 0 時 0 0 分から
場 所 八千代市福祉センター 4 階 第 3 ・ 4 会議室

1 開会

2 議題

(1)八千代市第 8 期障害福祉計画及び

八千代市第 4 期障害児福祉計画について

(2)日中サービス支援型共同生活援助事業所に対する評価について

(3)各分科会の活動等について

(4)基幹相談支援センターについて

(5)その他

3 事務連絡

4 閉会

八千代市障害者自立支援協議会 委員名簿

	委員名	所 属	分 野
1	小野 美果	八千代市身体障害者福祉会	障害者等及びその家族
2	木崎 早苗	八千代地域生活支援センター	指定相談支援事業者を代表する者
3	伊藤 則之	なごみの家	指定相談支援事業者を代表する者
4	吉野 眞里子	特定非営利活動法人 にじと風福祉会	指定相談支援事業者を代表する者
5	佐藤 翼	社会福祉法人 実のりの会 ビック・ハート	指定障害福祉サービス事業者を代表する者
6	小原 正律	ふる里学舎八千代	指定障害福祉サービス事業者を代表する者
7	奥山 琢	社会福祉法人 八千代翼友福祉会 きざし	指定障害福祉サービス事業者を代表する者
8	西澤 昇太郎	障害者支援施設 作山更生園	指定障害福祉サービス事業者を代表する者
9	國島 弘	障害者就業・生活支援センターあかね園	指定障害福祉サービス事業者を代表する者
10	淵田 真弓	八千代市児童発達支援センター	指定障害児通所支援事業者を代表する者
11	森田 美恵子	まめの木	指定障害児通所支援事業者を代表する者
12	宍倉 富子	グリーンヒルキッズゆりのき台	指定障害児通所支援事業者を代表する者
13	秋葉 理江	八千代市母子保健課	保健機関を代表する者
14	中村 明澄	向日葵クリニック	医療機関を代表する者
15	桜庭 幸太郎	八千代市教育委員会指導課	教育機関を代表する者
16	阿利 泰子	千葉県立八千代特別支援学校	教育機関を代表する者
17	山崎 馨子	船橋公共職業安定所 専門援助部門	障害者を雇用する法人を代表する者
18	小竹 祐二	身体障害者福祉会 きらめき支援センター	障害者団体を代表する者
19	石田 和美	八千代精神障害者家族会かたくり会	障害者団体を代表する者
20	大庭 久美	八千代市手をつなぐ親の会	障害者団体を代表する者
21	林 眞晟	船橋人権擁護委員協議会	権利擁護関係団体を代表する者
22	仲村 亜矢子	八千代市社会福祉協議会	権利擁護関係団体を代表する者
23	檜垣 昌也	聖徳大学短期大学部保育科	障害福祉に関する学識経験を有する者

○八千代市障害者自立支援協議会設置要綱

制定	平成 19 年 3 月 30 日告示第	44 号
改正	平成 24 年 3 月 30 日告示第	91 号
	平成 25 年 3 月 1 日告示第	28 号
	令和 3 年 4 月 19 日告示第	173 号
	令和 4 年 1 月 5 日告示第	1 号

(設置)

第 1 条 障害者及び障害児（以下「障害者等」という。）への支援の体制の整備を図るため、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成 17 年法律第 123 号）第 89 条の 3 第 1 項の規定により、八千代市障害者自立支援協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（平 24 告示 91・平 25 告示 28・一部改正）

(所掌)

第 2 条 協議会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 処遇困難事例への対応のあり方の協議及び調整に関すること。
- (2) 地域の関係機関によるネットワーク構築等に向けた協議に関すること。
- (3) 地域の社会資源の開拓及び改善に関すること。
- (4) 障害福祉計画に関すること。
- (5) その他障害者等への支援の体制の整備に関すること。

（平 24 告示 91・一部改正）

(組織)

第 3 条 協議会は、委員 25 人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 障害者等及びその家族
- (2) 指定相談支援事業者を代表する者
- (3) 指定障害福祉サービス事業者を代表する者
- (4) 指定障害児通所支援事業者を代表する者
- (5) 保健機関を代表する者
- (6) 医療機関を代表する者
- (7) 教育機関を代表する者
- (8) 障害者を雇用する法人を代表する者

- (9) 障害者団体を代表する者
- (10) 権利擁護関係団体を代表する者
- (11) 障害福祉に関する学識経験を有する者

(平 2 4 告 示 9 1 ・ 平 2 5 告 示 2 8 ・ 一 部 改 正)

(任期等)

第 4 条 委員の任期は 2 年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第 5 条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(分科会)

第 6 条 協議会は、その定めるところにより、分科会を置くことができる。

2 分科会に属すべき委員は、会長が指名する。

3 分科会に分科会長を置き、当該分科会に属する委員の互選により選任する。

(会議)

第 7 条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会議の議長となる。

2 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 前 2 項の規定にかかわらず、会長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、書面を委員に送付して、可否を問い、その結果をもって、前項に規定する会議の議決に代えることができる。

- (1) 天災その他避けることができない事故により委員が通常交通手段によって会議に出席することが著しく困難となった場合
- (2) 感染症その他の疾病の予防又はまん延の防止のため、委員が会議に出席することが適当ではない場合
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか会議に代えて書面による協議を行うことにつ

いて相当な理由がある場合

(令和 4 告示 1 ・ 一部改正)

(秘密の保持)

第 8 条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

(平 2 5 告示 2 8 ・ 一部改正)

(資料の提出等の要求)

第 9 条 協議会は、その所掌事務を遂行するため必要があると認めるときは、関係者に対し、資料の提出、意見の開陳その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第 1 0 条 協議会の庶務は、障害者自立支援担当課において処理する。

(その他)

第 1 1 条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、平成 1 9 年 5 月 1 日から施行する。

(令 3 告示 1 7 3 ・ 一部改正)

(令和 3 年 5 月 8 日に委嘱される委員の任期の特例)

2 令和 3 年 5 月 8 日に委嘱される委員の任期は、第 4 条第 1 項の規定にかかわらず、同年 1 2 月 1 9 日までとする。

(令 3 告示 1 7 3 ・ 追加)

附 則 (平成 2 4 年告示第 9 1 号)

この告示は、平成 2 4 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 2 5 年告示第 2 8 号)

この告示は、平成 2 5 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 8 条の改正規定は、公示の日から施行する。

附 則 (令和 3 年告示第 1 7 3 号)

この告示は、公示の日から施行する。

附 則 (令和 4 年告示第 1 号)

この告示は，公示の日から施行する。

八千代市障害福祉計画の策定に係るアンケート調査の概要

1.調査の対象者等

調査の対象者等については、「八千代市第6次計画」に記載されている障害者の総数の中で信頼度が95%となるための必要サンプル数(※最低限必要となる回答数)を考慮して調査対象者の比率を提案します。(※全体回収率50%で計算)

但し、障害児については、母数が少なく、信頼度の計算が効果的ではないと考えられるため、前回調査と同じ割合の配布数を提案します。

■調査対象者と配布枚数(案)

区分(障害者)	前回配布数	前回回答者数	障害者(児)の総数	必要サンプル数	今回配布数(案)
①身体障害者	1,200部	643人	5,240人	358人	1,200部
①-1 視覚障害	—	—	397人	196人	200部
①-2 聴覚・平衡機能障害			406人	198人	200部
①-3 肢体不自由			2,480人	333人	400部
①-4 内部障害			1,991人	323人	400部
②知的障害者	400部	165人	1,061人	283人	550部
③精神障害者	400部	186人	2,204人	328人	750部
④身体障害児	50部	20人	119人	—	50部
⑤知的障害児	100部	57人	442人	—	100部
⑥精神障害児	50部	24人	不詳	—	50部
合 計	2,200部	1,095人	9,066人	969人	2,700部

■必要サンプル数の計算方法と考え方

必要サンプル数は次の式で求めることができます。

$$n = \lambda^2 \frac{p(1-p)}{d^2}$$

n:必要サンプル数

p:回答比率

d:標本誤差

λ:信頼度

N:全体数

国が行う調査で一般的に使われる数字(回答比率50%,標本誤差5%,信頼度95%(λ=1.96))を用いています。

例)②知的障害者の場合 $n = (\lambda^2 p(1-p)/d^2) \div 385$

修正式にかけると $n' = N + n - 1 / nN = 283$

全体回収率50%で計算しているため、 $283 \div 50 \times 100 = 566$

→今回調査では配布数を**550部**で設定しています。

2.調査用封筒の分類

各障害種別の調査用封筒が一目でわかるように管理するため,以下の通り調査用封筒の色分けを行います。

■発送用封筒(角2),返信用封筒(長3)の配色について

対象者	配色
障害者用	若草色
障害児用	だいだい色

3.主な関係法令の概要

(1)障害者基本法(平成23年7月改正)

障害者の権利と福祉を守るための法律であり,障害者が自立し,社会参加できることを目的としています。

(2)障害者総合支援法(令和6年4月改正)

障害者・障害児が人権を持つ個人として尊厳をもって生活できるように福祉を推進し,障害の有無にかかわらず,安心して暮らせる地域社会の実現を目的とした法律です。

(3)障害者差別解消法(令和6年4月改正)

障害者に対する不当な差別を禁止し,合理的配慮を提供することを義務付ける法律です。

(4)障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法(令和4年5月改正)

全ての障害者が,社会を構成する一員として社会,経済,文化その他あらゆる分野の活動に参加するために,必要とする情報を十分に取得し,円滑に意思疎通を図ることを目的とした法律です。

4.主な関係法令の改正ポイント(令和4年以降)

年	法律・計画名等	主な内容
令和4年	障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律(障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法)	障害者の情報の取得利用・意思疎通に係る施策を総合的に推進し,共生社会の実現に寄与する。

年	法律・計画名等	主な内容
令和4年	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (障害者総合支援法)	障害のある人等の地域生活や就労の支援の強化により、障害のある人等の希望する生活の実現を目指す ・地域生活及び多様な就労ニーズに対する支援 ・精神障害者のニーズ等に応じた支援体制の整備 ・医療の充実及び療養生活支援の強化等
令和6年	障害者差別解消法の改正	・事業者による障害のある人への合理的配慮の提供が義務化
	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (障害者総合支援法)	・障害者の地域生活の支援体制の充実 ・障害者の就労支援や雇用の推進 ・精神障害者への医療支援体制の整備 ・難病患者などへの医療充実と療養生活支援の強化

5.主な関係法令の改正ポイントを踏まえた新規項目(案)

・情報アクセシビリティの強化に関する項目

→障害者 問32,障害児 問36「3. 情報アクセシビリティの充実」の選択肢を追加しました。
語句の注釈を入れることも検討します。

また,障害者 問29,障害児 問33で必要となる情報の種類に関する設問も追加しました。

・地域生活及び多様な就労ニーズに対する支援に関する項目

→障害者 問7,障害児 問10(暮らし方)をクロス集計の軸とすることで,それぞれの暮らし方に応じたニーズの把握を行います。

・精神障害者のニーズ等に応じた支援体制の整備に関する項目

→障害者 問4,障害児 問6で「3.精神障害者保健福祉手帳」を選択した人と障害者 問32,障害児 問36をクロス集計し,上位項目に関連する施策の洗い出し又は新規施策の提案を行います。

・合理的配慮に関する項目

→障害者 問27,障害児 問31で合理的配慮に関する理解が進んでいるかどうか検証・評価する項目を追加しました。

・グループホームの支援体制の強化に関する項目

→障害者 問7,障害児 問10で「2.グループホーム」と回答した人と障害者 問32,障害児 問36をクロス集計し,上位項目に関連する施策の洗い出し又は新規施策の提案を行います。

・就労選択支援に関する項目

→障害者 問12の訓練・就労系サービスに「就労選択支援」の項目を追加し,他の障害福祉サービスと同様に利用意向を問う形としました。

・その他必要と判断される項目

→介助者の有無について,成年後見制度の見直しについて

6.次期基本指針の見直しのポイント(令和7年9月末)

令和7年9月末の国部会資料で,次期基本指針の見直しのポイントが13点示されており,次期アンケート調査票に反映すべき内容であるかの選定を行い,設問に反映を行った箇所や反映しない理由等について取りまとめています。

①入所等から地域生活への移行,地域生活の継続の支援

→**反映する**(障害者 問28,問28-1,障害児 問32,問32-1で意思決定における困難の有無とそれを改善するための支援策に関する設問を追加し,意思決定支援の強化に向けてニーズを把握します。)

②精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

→**反映する**(障害者 問4,障害児 問6で「3.精神障害者保健福祉手帳」を選択した人と障害者 問32,障害児 問36をクロス集計し,上位項目に関連する施策の洗い出し又は新規施策の提案を行い,精神障害者(児)のニーズを把握します。)

③福祉施設から一般就労への移行等

→**反映する**(障害者 問12の訓練・就労系サービスに「就労選択支援」の項目を追加し,他の障害福祉サービスと同様に利用意向を問う形としました。)

④地域における相談支援体制の充実強化

→反映しない(基幹相談支援センターの設置の推進に関する内容であり,八千代市は設置済といった状況であるため,反映していません。)

⑤障害福祉人材の確保・定着,生産性の向上

→**反映する**(障害者 問32,障害児 問36で「14. 質の高いサービスを提供するための人材の確保・育成」といった選択肢を追加しました。)

⑥人口減少地域におけるサービスの維持・確保

→反映しない(サービスの提供体制を維持・確保することの重要性を基本指針とする旨の内容であり,アンケート調査との関連性は薄いと考えられるため,反映していません。)

⑦障害福祉サービスの質の確保

→**反映する**(障害者 問7,障害児 問10で「2.グループホーム」と回答した人と障害者 問32,障害児 問36をクロス集計し,上位項目に関連する施策の洗い出し又は新規施策の提案を行い,グループの質の確保に関するニーズを把握します。)

⑧きめ細かい地域ニーズを踏まえた支援体制の整備

→**反映する**(障害者 問5,障害児 問7において「6.重症心身障害の認定を受けている」と「7.強度行動障害があると言われたことがある」の選択肢を追加し,様々な項目とクロス集計を行い,ニーズを把握します。)

⑨障害者等に対する虐待の防止等

→**反映する**(「①入所等から地域生活への移行,地域生活の継続の支援」と同様の内容となります。)

⑩「地域共生社会」の実現に向けた取組

→反映しない(地域共生社会を推進するといった内容であり,アンケート調査に反映するテーマとしては,抽象的であると考えられるため,反映していません。)

⑪住宅セーフティネット制度との連携

→反映しない(各自治体の住宅担当部局や居住支援協議会との連携を図る旨の内容であり,アンケート調査との関連性は薄いと考えられるため,反映していません。)

⑫災害時における障害福祉サービス提供の確保

→**既存の設問に記載がある**(障害者 問18,障害児 問22で福祉避難所を利用しやすくするために必要なことについての設問があるため,その設問を活用して災害時における障害福祉サービスの内容を検討していきます。)

⑬地域差の是正・指定の在り方等

→反映しない(地域差の是正に関する内容であり,アンケート調査に反映するテーマとしては,抽象的であると考えられるため,反映していません。)

報告・評価シート

【報告日 令和7年 8月 21日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】													
1 施設概要	事業者名	ソーシャルインクルーホーム八千代村上			人員配置 (常勤換算後の欄 は、男女 合計数で 記載)	日中								
	指定日	令和3年	1月	1日		世話人	生活支援員							
	所在地	千葉県八千代市村上3250				19人	5人							
	定員数（共同生活援助）	20人				(常勤換算後)	(常勤換算後)							
	定員数（短期入所）	2人				6.9人	3.9人							
	共同生活住居数	1戸				夜間								
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】				世話人（夜間）	生活支援員（夜間）							
	ソーシャルインクルーホーム八千代村上Ⅰ	10名				16人	0人							
	ソーシャルインクルーホーム八千代村上Ⅱ	10名				(常勤換算後)	(常勤換算後)							
	短期入所八千代村上	2名				8.8人	0人							
2 利用者状況 (令和7年8月21日 現在)	障害支援区分	人数			内訳①	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）				内訳②	主な障害種別利用者人数（男女別）			
	非該当	人				身体	総 数：	5人			身体	総 数：（男性）	4人	
	区分1	人					主に日中GHで過ごす人数：				(女性)		1人	
	区分2	人				知的	総 数：	8人			知的	総 数：（男性）	4人	
	区分3	6人					主に日中GHで過ごす人数：				(女性)		4人	
	区分4	8人				精神	総 数：	6人			精神	総 数：（男性）	2人	
	区分5	2人					主に日中GHで過ごす人数：				(女性)		4人	
	区分6	4人				難病等	総 数：	1			難病等	総 数：（男性）	0人	
	合計	20人					主に日中GHで過ごす人数：				(女性)		1人	
	年齢	人数			内訳	障害特性		人数						
	～20代	2人				医療的ケアが必要な者（※1）	0人		※1 受給者証に「医療的ケア対応支援加算」と記載されている方					
	30代	1人				強度行動障害がある者（※2）	3人		※2 受給者証に「重度障害者支援加算(Ⅱ)」と記載されている方					
	40代	4人												
	50代	8人												
	60代～	5人												

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 利用者の主な日中の活動について	<p>・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談及び援助 ・食事提供 ・着替え、整容等の介助 ・活動支援 ・入浴、排泄、移乗の介助 ・通院同行、買い物同行、代行 ・健康管理、薬の管理、金銭管理 ・入院等に関する支援 	<p>【評価】</p> <p>・個々に応じたプログラムを作成し、充実した生活を送れるような支援に努めることができていた。引き続き、利用者本人の意向を踏まえ、支援を行っていただきたい。</p> <p>【助言】</p> <p>今後、活動内容のマナー化防止や利用者意欲・社会性向上につながるような、季節行事や余暇活動、地域資源の活用を組み合わせたプログラムの実行についても心掛けていただきたい。</p>
	<p>・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について</p> <p>前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 15 人</p> <p>・生活介護や就労へ行って頂いている。</p> <p>一部移動支援も利用開始している。</p>	

<p>4 利用者に対する地域生活の支援状況について</p>	<p>・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。</p> <p>(充実した地域生活を送るために行っている外出・余暇活動等の支援活動の事例についても記入)</p> <p>・毎月定期レクリエーションの実施 事例(誕生日レク、ホーム内パーティー、外食レク)</p> <p>・ドライブ、散歩、通院、買い物同行</p> <p>・体験的利用等のニーズに対応しているか。</p> <p>・見学、体験対応</p> <p>・短期入所の受け入れ</p> <p>・空きがない場合の対応時は近隣ホームへ誘導</p>	<p>【評価】</p> <p>・日常生活の中に外出機会を取り入れるなど、外出や余暇活動の支援に努めることができている。</p> <p>【要望】</p> <p>・季節のお祭りやイベントなどの地域資源の活用も検討していただきたい。</p> <p>【助言】</p> <p>・地域とのつながりを深めるためには、地域行事への参加や地域団体との協働、ボランティアとの交流など、小規模でも継続的に交流の場を設け、利用者が地域社会とのつながりを実感できるような活動へと発展させていくことが望ましい。</p> <p>【要望】</p> <p>・若年層（中学生・高校生）の体験利用も推進していただきたい。</p>
<p>5 支援体制の確保について</p>	<p>・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。</p> <p>(同性介助の体制確保ができているかについても記入)</p> <p>配置基準は達成している。</p> <p>夜勤帯の加配加算を取得している為、当日欠勤が出てしまうと人員の確保が保てない日がある。</p> <p>また、同性介助に関しては、男性職員8名、女性職員17名での運営となっている。</p>	<p>【評価】</p> <p>・昨年度より人員が増員している。同性介助の体制確保と充実に向けて、引き続き取り組んでいただきたい。</p>

6 地域に開かれた運営について	<p>・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。</p> <p>・コロナウイルスの流行もあり、自粛していたが、緩和している中で、現在管理者、サビ管でボランティア活動や会議、研修などに積極的に参加をさせて頂いている段階。次のステップとして、ご利用者様が地域交流に向けて進めていきたいと考えている。</p> <p>また、今年度から地域推進会議を実施し、地域住民との交流に繋げていきたい。</p>		<p>【助言】</p> <p>・地域交流として、避難訓練や清掃活動への参加を検討してみてもどうか。</p>
	<p>・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。</p>		<p>【要望】</p> <p>ボランティアや実習生の受け入れについて、積極的に取り組んでいただきたい。</p> <p>【助言】</p> <p>・地域内の中学校の職場体験などの受け入れを検討してみてもどうか。</p>
	受け入れ人数	<p>実 習 生： 0 人</p> <hr/> <p>ボランティア： 0 人</p>	
	<p>現状なし</p>		

<p>7 短期入所の併設について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ・現在満室稼働で、お問い合わせを頂いたケースは重度でも100%受け入れをしている。直近で短期入所稼働率は、千葉県内ソーシャルインクルーホーム内(全22ホーム)で県内1番の利用頻度の位置づけとなっている。 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重度障害の方を含め、積極的な受け入れを実施していただいている。今後も引き続き積極的な受け入れを継続していただきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 (緊急・一時的な支援等の受け入れ実績件数, 人数等も記入) ・緊急・一時的な支援等の受け入れ実績件数0件 事案なし 	<p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も緊急時に安心して利用できる受け入れ体制をお願いしたい。

8 相談支援事業者 や他のサービス事業 所との連携状況につ いて	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な連絡、相談、報告を実施 ・モニタリング時に同席や必要に応じて担当者会議の実施 	<p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して関係機関との情報共有や連携等を行っていただきたい。
9 利用者のニーズ の把握について	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回のモニタリングの実施 ・都度相談、及び援助 	<p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々のニーズに応じた対応、個々の意思を尊重した対応をお願いしたい。 ・厚労省HPに掲載されている意思決定支援ガイドラインを改めて確認いただき、支援を継続していただきたい。 <p>(参考URL) https://www.mhlw.go.jp/content/12602000/000307504.pdf</p> <p>【助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員間のモニタリング結果の共有や、家族や医療機関からの情報の積極的な取り入れにより、さらなる利用者ニーズの把握等につなげていくことができる。
10 支援困難事例に ついて	<ul style="list-style-type: none"> ・精神の方で支援拒否の方に対してどこまで踏み込んで良いか、主に服薬拒否や入浴拒否。 ・身体の方でADL面が低下し、医療的ケアが必要な方の場合どこを判断基準としたら良いか ・知的の方でルーティーンやこだわりが強い方に対し、どう工夫していく事が望ましいか 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害種別ごとに課題を整理・共有することができている。今後も継続していただきたい。 <p>【助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな障害種別に対応するため、身体・知的・精神のそれぞれにエキスパートとなる職員を育成してはいかかが。

11 事故への対応について	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者にて対応 ・管理者で対応が困難な事案はエリアマネージャーにて対応 	<p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年の医師の働き方改革等の影響で、夜間の救急受け入れ先が見つからないできないケースも増えてきていることから、日頃よりかかりつけ医とのより緊密な連携に努めていただきたい。 <p>【助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間の緊急対応について、フローやマニュアル等を職員間で周知し、訓練や事例検討を通じて、より実行性を高めていけるよう努めていただきたい。
12 苦情解決の取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者にて対応 ・管理者で対応が困難な事案はエリアマネージャーにて対応 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情相談について記録を残し、迅速な対応等を心掛けることができています。 <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情を言葉で表現することが難しい利用者について、普段の様子から汲み取り対応できるよう努めていただきたい。 ・苦情を把握するための取り組みについても、検討の上、実施していただきたい。

<p>13 従業者の資格取得状況や実務経験について</p>	<p>・支援スキルの高い管理者を置いているか。</p> <p>（必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入）</p> <p>管理者経験約6ヶ月、 強度行動障害支援者養成研修基礎、実践取得。</p>	<p>【評価】</p> <p>管理者やサービス管理責任者が強度行動障害支援者養成研修を受講しているなど、専門的知識の取得に努めることができている。引き続き、各種研修の受講等を通じて支援スキルの研鑽に励んでいただきたい。</p>
	<p>・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。</p> <p>（必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入）</p> <p>障害福祉分野にて経験は約6年、サビ管講習、 強度行動障害支援者養成研修基礎、実践取得。</p>	
	<p>・支援スキルの高い従業者を置いているか。</p> <p>（必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入）</p> <p>・実務経験は3年以上、初任者研修取得、新規採用者の受け入れからOJTと人材育成に注力しております。</p>	
<p>14 その他</p>		

報告・評価シート

【報告日 2025年 8月 22日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】													
1 施設概要	事業者名	グループホームイノベルハ千代島田台			人員配置 (常勤換算後の欄 は、男女 合計数で 記載)	日中								
	指定日	2025年	3月	1日		世話人	生活支援員							
	所在地	千葉県八千代市島田台1190-4				10人	8人							
	定員数（共同生活援助）	20人				(常勤換算後)	(常勤換算後)							
	定員数（短期入所）	2人				7.2人	3.9人							
	共同生活住居数	2戸				夜間								
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】				世話人（夜間）	生活支援員（夜間）							
	イノベルハ千代島田台【A棟】	10名				0人	10人							
	イノベルハ千代島田台【B棟】	10名				(常勤換算後)	(常勤換算後)							
	イノベルハ千代島田台【短期】	2名				0人	40人							
2 利用者状況 (令和7年8月22日 現在)	障害支援区分	人数			内訳①	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）				内訳②	主な障害種別利用者人数（男女別）			
	非該当	0人				身体	総 数：	2人			身体	総 数：（男性）	1人	
	区分1	0人					主に日中GHで過ごす人数：		1人			(女性) 1人		
	区分2	0人				知的	総 数：	8人			知的	総 数：（男性）	4人	
	区分3	1人					主に日中GHで過ごす人数：		1人			(女性) 4人		
	区分4	6人				精神	総 数：	9人			精神	総 数：（男性）	5人	
	区分5	8人					主に日中GHで過ごす人数：		4人			(女性) 4人		
	区分6	3人				難病等	総 数：	0人			難病等	総 数：（男性）	0人	
	合計	18人					主に日中GHで過ごす人数：		0人			(女性) 0人		
	年齢	人数			内訳	障害特性		人数						
	～20代	2人				医療的ケアが必要な者（※1）		0人		※1 受給者証に「医療的ケア対応支援加算」と記載されている方				
	30代	2人				強度行動障害がある者（※2）		0人		※2 受給者証に「重度障害者支援加算(II)」と記載されている方				
	40代	2人												
	50代	9人												
	60代～	3人												

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 利用者の主な日中の活動について	<p>・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ご利用者様の生活に合わせた日常生活支援を行ってます。</p> <p>生活支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介助全般(起床・身体・入浴・食事・就寝) ・通院等介助 ・買物同行支援、お散歩支援 ・個別スケジュールの管理、通所との連携 ・ご要望があった場合金銭管理 ・各種相談支援、行政手続き支援等 ・レクリエーション 毎月2回:移動バン販売車のお買物支援 <p>健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、朝夕のバイタルチェック ・体重測定(毎月) <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・往診:内科、歯科、精神科 ・訪問看護、リハビリ、理美容など 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに合わせた日中サービスを提供することができている。今後も利用者に合わせたプログラムの計画やマンネリ化しない活動計画の立案に努めていただきたい。 <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用しながら日中活動の充実を図っていただきたい。
	<p>・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について</p> <p>前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数：13人</p> <p>生活介護や作業所に行かれております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふる里学舎八千代様 ・はばたき職業センター様 ・ゆたか福祉苑様 ・生活介護ぱっそ様 ・就労継続支援B型ネコパス様" ・友愛みどり園様 ・エスポワール船橋様 	

<p>4 利用者に対する地域生活の支援状況について</p>	<p>・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。</p> <p>(充実した地域生活を送るために行っている外出・余暇活動等の支援活動の事例についても記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買物同行支援、お散歩支援 ・レクリエーション 毎月2回:移動バン販売車のお買物支援 ・かき氷器を使ったかき氷の提供, ホットプレートを利用した簡単な調理イベントの実施等 	<p>【評価】</p> <p>・夏にかき氷器を使ってかき氷の提供したり, 月1回のホットプレートを利用した簡単な調理イベントを実施するなど, 昨年度より余暇活動の充実が見受けられた。</p> <p>【要望】</p> <p>・季節のお祭りやイベントなどの地域資源の活用も検討していただきたい。</p>
	<p>・体験的利用等のニーズに対応しているか。</p> <p>将来的にグループホームをご利用したい方の見学を実施し、ご説明の上、体験利用を行わせて頂いたりしております。</p> <p>体験期間はご利用者様のニーズにお答えできるよう、一週間から最大50日まで体験を行っております。</p> <p>体験時の生活内容はご家族様のニーズに合わせた対応を心掛け、集団生活の場の提供を実施しております。</p> <p>現在までに入居された利用者様は、体験を通して入居されております。入居前提でなくても体験利用可能で、いつでも体験できる準備は行わせて頂いております。</p> <p>※直近、6~8月の間で8件ほどの見学がございました。</p>	<p>【評価】</p> <p>体験的利用について、利用者や家族のニーズに応じて柔軟に対応できるような仕組みづくりができている。</p> <p>【要望】</p> <p>・より安定した人員体制の維持・確保に努めていただきたい。</p>
<p>5 支援体制の確保について</p>	<p>・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。</p> <p>(同性介助の体制確保ができているかについても記入)</p> <p>ピオネストに承継されてから面接件数も増え、おかげさまで人員が増えてきております。日中の女性スタッフも増えてきておりますが、まだ少ない感じになります。</p> <p>併せて、現在夜勤で働いているスタッフの方に説明させて頂いたうえで、日中支援に来れる方を募り対応しています。</p> <p>夜勤スタッフについては体制確保しつつありますが、1フロア2名体制が望ましく、求人を待ちながらご利用者様の支援に当たっております。</p> <p>日中(土日を含む) 1ユニット 2~3名(管理者を含む) 夜間専従者 1ユニット 1~2名(管理者を含まない) にて支援を行わせて頂いております。</p>	<p>【評価】</p> <p>昨年度より人員が増えており、人員体制が強化されている。</p> <p>【要望】</p> <p>・同性介助の体制確保と人体体制の充実に向けて、引き続き取り組んでいただきたい。</p>

6 地域に開かれた運営について	<p>・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。</p> <p>・ご家族の訪問に関しましては、ご連絡があればご対応しております。ホームの状況などや質問などを、随時コミュニケーションを取っております。</p> <p>・移動販売によるお買物については、残念ながら先方の移動ルート変更があったため終了となってしまいました。</p> <p>そこで別にパンの移動販売会社がありましたので、そちらを活用させて頂いております。ご利用者様方も楽しみにされております。(特に女性陣)</p> <p>・散歩の時などに地域の方とすれ違う際にご挨拶しております。</p>		<p>【評価】</p> <p>・移動販売による買い物が終了となってしまったものの、代わりとしてパンの移動販売を活用し、利用者の楽しみの場を確保することができている。</p> <p>【要望】</p> <p>・地域イベントへの参加や地域ボランティアの招致等，地域住民と交流を図ることができるよう努めていただきたい。</p> <p>・【助言】</p> <p>地域交流として、避難訓練や防災訓練，清掃活動などへの参加も検討してみてもどうか。</p>
	<p>・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。</p>		<p>【要望】</p>
	受け入れ人数	<p>実 習 生： 0 人</p> <hr/> <p>ボランティア： 0 人</p>	<p>・実習生やボランティアの受け入れによって，利用者の生活に活気が出ることもつながるため，積極的に取り組んでいただきたい。</p>
<p>実習生やボランティアの方をお受けしていきたいのですが、今現在まで実績がありません。</p> <p>人員不足解消の為に検討していきたいと思います。</p>			

<p>7 短期入所の併設について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ・短期入所のお問い合わせが、相談員様などから有れば、積極的にお受けしております。 <p>ご利用者様から、時折短期入所の利用のご質問を頂く事もございます。その際にもご対応しております。</p> <p>また、八千代市外の方からお話があればご案内させて頂いております。</p>	<p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き積極的に短期入所の受け入れをしていただきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 <p>(緊急・一時的な支援等の受け入れ実績件数、人数等も記入)</p> <p>2025年1月以降で起きた案件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さまのレスパイトによりご利用 1件 ・お母さまの体調不良によるご利用 1件 	<p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の受け入れ含め、今後も緊急時に安心して利用できる受け入れ体制をお願いしたい。

<p>8 相談支援事業者 や他のサービス事業 所との連携状況につ いて</p>	<p>・相談支援事業者様とは、情報共有や交換を行いながら交流を図っております。グループホームや短期入所のご案内など頂いております。</p> <p>・他のサービス事業所やりハピリ、訪問看護、往診医の方との連携を取り相談・助言などを頂いております。</p>	<p>【要望】</p> <p>引き続き、関係機関との情報共有や連携等を行っていただきたい。</p>
<p>9 利用者のニーズ の把握について</p>	<p>精神障害のご利用者様について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご家族、ご本人、精神科医、相談支援員の方々と話し合いを行い目標に向かって進めております。 ・訪問診療以外の近隣の精神科の利用をご家族の同意の元で増やしております。 <p>知的障害のご利用者様について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会参加をして頂くために、買物や散歩、通所などを通してご利用者様の希望を探っております。 ・いくつかの選択肢を用意して選んで頂きながら、過ごして頂いております。(おやつや衣服など) 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害種別ごとの特性等に応じた方法で、ニーズの把握を行うことができています。引き続き、利用者の普段の様子や利用者及び各関係職員等とのコミュニケーションを通じてニーズの把握に努めていただきたい。 <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚労省HPに掲載されている意思決定支援ガイドラインを改めて確認いただき、支援を継続していただきたい。 <p>(参考URL) https://www.mhlw.go.jp/content/12602000/000307504.pdf</p>
<p>10 支援困難事例に ついて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・精神の方で、常に幻聴や幻視が見えている方への会話の難しさを感じております。ポジティブな回答で「大丈夫」と励ますのですが、落ち込みが酷い時に会話での回復させるのが難しさを感じます。 ・最近入居された知的の方で、通所に誘導するのに難しさがございます。まだ信頼関係が出来ていないという事もあり、通所先のスタッフ様にご協力を頂きながら通所して頂いております。 <p>その甲斐もあり、自宅だと週1~2回しか行けてなかったのですが、入居後は休まず通所して頂いております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体の方については、当施設に身体障がいの方が少ないという事もあってか、スタッフの対応の不慣れが目立ちます。 <p>都度、体位変換やボディメカニクスなどを説明したりしていますが、研修を行おうかと思っております。</p>	<p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体・知的・精神と障害種別に応じて特性が異なることから支援困難なケースもあると思うが、継続して支援に努めていただきたい。 <p>【助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな障害種別に対応するため、身体・知的・精神のそれぞれにエキスパートとなる職員を育成してみてもどうか。

<p>11 事故への対応について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットを作成し予防を行います。 <p>併せて、集まったヒヤリハットを分析し改善案を作りたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間受け入れを行っている病院を模索したいと思います。 <p>近隣だと、セコメディック病院や島田台病院かと思っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本社とも情報共有を行い対応を行えるよう努めて参ります。事故報告を作成し、本社、行政、関係各所との情報共有を行い再発しないよう努めて参ります。 ・事故報告書 ・ヒヤリハット報告書 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットや事故報告書の作成及びフィードバックの実施や改善案の共有など、再発防止のための方針が示されている。 <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年の医師の働き方改革等の影響で、夜間の救急受け入れ先が見つからないケースも増えてきていることから、日頃よりかかりつけ医とのより緊密な連携に努めていただきたい。
<p>12 苦情解決の取り組み状況</p>	<p>苦情報告書を作成し職員会議での共有と再発防止に向けた改善策の検討を行っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の申し送りにて共有 ・ケア会議で検討し再発防止策を決定し実施していきます 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情報告書の作成や、会議での職員間での共有等を通じて、改善及び再発防止策についての検討が行えている。引き続き、継続して取り組んでいただきたい。

<p>13 従業者の資格取得状況や実務経験について</p>	<p>・支援スキルの高い管理者を置いているか。</p> <p>（必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入）</p> <p>[管理者] この業界で支援者として働き始めて、4年5か月ほどになります。その前は販売業で努めておりました。</p> <p>[資格] 介護職員初任者研修、居宅介護職員初任者研修 実務者研修、甲種防火管理新規講習</p> <hr/> <p>・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。</p> <p>（必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入）</p> <p>[サービス管理責任者] 以前は八千代市社会福祉協議会などで働いておりました。</p> <p>[資格] 社会福祉士、行動心理士、メンタル心理士など</p> <hr/> <p>・支援スキルの高い従業者を置いているか。</p> <p>（必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入）</p> <p>初任者研修修了、看護師が在籍しております。</p>	<p>【要望】</p> <p>・各障害種別に対応できるよう、各種研修の受講等を通じて支援スキルの研鑽に励んでいただきたい。</p>
<p>14 その他</p>		

報告・評価シート

【報告日 R7 年 8月 21日】

【評価日 年 月 日】

項目	【事業所記入欄】														
1 施設概要	事業者名	クライスハイム八千代米本				人員配置 (常勤換算後の欄 は、男女 合計数で 記載)	日中								
	指定日	2024年	8	月	1		日	世話人	生活支援員						
	所在地	八千代市米本2418-2					1人	1人							
	定員数(共同生活援助)	20人					(常勤換算後)	(常勤換算後)							
	定員数(短期入所)	2人					人	人							
	共同生活住居数	1戸					夜間								
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】			世話人(夜間)		生活支援員(夜間)								
	【クライスハイム八千代米本Ⅰ】	10名			3人		0人								
	【クライスハイム八千代米本Ⅱ】	10名			(常勤換算後)		(常勤換算後)								
					人		人								
2 利用者状況 (令和7年8月21日 現在)	障害支援区分	人数				内訳①	主な障害種別利用者人数(重複はそれぞれ記入)				内訳②	主な障害種別利用者人数(男女別)			
	非該当	0人					身体	総数:	3人			身体	総数:	(男性)	3人
	区分1	0人						主に日中GHで過ごす人数:		1人			(女性)		人
	区分2	0人					知的	総数:	2人			知的	総数:	(男性)	2人
	区分3	3人						主に日中GHで過ごす人数:		0			(女性)		人
	区分4	6人					精神	総数:	4人			精神	総数:	(男性)	2人
	区分5	人						主に日中GHで過ごす人数:		3人			(女性)		2人
	区分6	人					難病等	総数:	0人			難病等	総数:	(男性)	0人
	合計	9人						主に日中GHで過ごす人数:		0人			(女性)		0人
	年齢	人数				内訳	障害特性		人数						
	～20代	人					医療的ケアが必要な者(※1)		0人		※1 受給者証に「医療的ケア対応支援加算」と記載されている方				
	30代	2人					強度行動障害がある者(※2)		0人		※2 受給者証に「重度障害者支援加算(Ⅱ)」と記載されている方				
	40代	2人													
	50代	5人													
	60代～	人													

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 利用者の主な日中の活動について	<p>・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。</p> <p>日中活動先といたしましては、主にB型作業所へ行かれております。</p> <p>日中活動が困難な利用者様には、出来る範囲で福祉サービス(移動支援・同行支援等)を利用してもらう方向とは別にホーム内におかれましては傾聴、散歩、訪問看護等に入って頂き日常生活の困りごと等の対応を行っております。</p>	<p>【要望】</p> <p>・個々に応じたプログラムを作成し、充実した生活を送れるような支援をお願いしたい。また、地域資源を活用しながら日中活動の充実を図っていただきたい。</p>
	<p>・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について</p> <p>前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 6 人</p>	

4 利用者に対する 地域生活の支援状況 について	<p>・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。</p> <p>（充実した地域生活を送るために行っている外出・余暇活動等の支援活動の事例についても記入）</p> <p>外出が困難である利用者様の買物支援、筋力低下の利用者様へは近隣の散歩の支援を行っております。</p>	<p>【要望】</p> <p>・地域ボランティアや地域のイベント等の地域資源を活用するなど、外出や余暇活動の支援について、さらなる充実に努めていただきたい。</p> <p>【助言】</p> <p>・ホットプレートを利用した簡単な調理など、利用者の方々でも気軽に参加できるレクリエーションを企画してみてもどうか。</p>
5 支援体制の確保 について	<p>・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。</p> <p>（同性介助の体制確保ができていないかについても記入）</p> <p>人員配置において、基準を満たしていない為速やかに対応したい。</p> <p>通院時等職員が不在になる為今後どのように対応をする事が望ましいか検討の余地あり。</p> <p>同性介助については、ご本人様やご家族様に状況を説明したうえで了承を頂いている方のみ現状問題なく行えている。</p>	<p>【要望】</p> <p>・人員体制の充実及び同性介助の体制確保のため、人員確保に努めていただきたい。また、応援体制の構築や勤務体制の見直しなど、支援の質を落とさないための取り組みについて検討いただきたい。</p> <p>・個人の尊厳を考慮すると男女が同じフロアに住むことは望ましくないため、男女が別のフロアになるよう早急に対応いただきたい。</p>

6 地域に開かれた運営について	<p>・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。</p> <p>令和6年度障害福祉サービス等報酬改定により、地域連携推進会議の開催が、努力義務化から義務化されたため、ボランティアを含め、地域との交流を図ることにより、サービスや支援の質の向上に努めたい。</p>		<p>【要望】</p> <p>・利用者の方々を交えての地域交流の機会確保等に向けて努めていただきたい。</p> <p>【助言】</p> <p>・地域交流の一環として、避難訓練や清掃活動への参加を検討してみてもどうか。</p>
	<p>・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。</p>		<p>【要望】</p> <p>・ボランティアや実習生の受け入れについて、積極的に取り組んでいただきたい。</p> <p>【助言】</p> <p>・市内地域の中学校・高等学校の職場体験の受け入れ等について検討してみてもどうか。</p>
	受け入れ人数	<p>実 習 生： 0 人</p>	
		<p>ボランティア： 0 人</p>	
<p>ご要望やご希望が有りましたら、出来る範囲で積極的に対応したい。</p>			

7 短期入所の併設について	<p>・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。</p> <p>短期入所は、地域生活支援の拠点等の整備における5つの機能の1つであるため積極的な受け入れを行っていきたい。</p> <p>ご家族のレスパイトや、一時的な受け入れについても対応を行っていきたい。</p>	<p>【要望】</p> <p>・若年者（中学生・高校生）含め、短期入所の受け入れ体制を整え、積極的な受け入れに努めていただきたい。</p>
	<p>・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。</p> <p>（緊急・一時的な支援等の受け入れ実績件数、人数等も記入）</p> <p>現時点では緊急案件はございません。</p>	<p>【要望】</p> <p>・緊急時に安心して利用できる受け入れ体制の確保に努めていただきたい。</p> <p>・八千代市地域生活支援拠点等事業への登録についても検討いただきたい。</p>

8 相談支援事業者 や他のサービス事業 所との連携状況につ いて	利用者様の社会生活の自立を促進する事が出来る様に相談事業所、障害福祉サービス事業所等と連携を図りながら支援していきたい。	【要望】 ・関係機関との情報共有や連携等を行い、支援に努めていただきたい。
9 利用者のニーズ の把握について	把握は出来ているが、買物支援、通院支援、役所手続き等の希望する声が上がっているが、1人の支援者がつきっきりになる為、移動支援を検討するも援護地が市外の為利用が難しい等課題が多い。	【要望】 ・個々のニーズに応じた対応、個々の意思を尊重した対応をお願いしたい。 ・厚労省HPに掲載されている意思決定支援ガイドラインを改めて確認いただき、支援を継続していただきたい。 （参考URL） https://www.mhlw.go.jp/content/12602000/000307504.pdf
10 支援困難事例に ついて		【要望】 事業所内や職員間で、それぞれの障害に沿った支援困難事例の検討を行っていただきたい。

11 事故への対応について	<p>事故発生した場合には、現場から管理者、エリアマネージャーに連絡指示に従って対応を行う。各関係機関への連絡を行う。</p> <p>原因究明を図った上で対応策を検討し件数の減少、大事故に繋がることがないようにする。</p>	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故発生時の対応について、フローやマニュアルが明確に定められている。 <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年の医師の働き方改革等の影響で、夜間の救急受け入れ先が見つからないケースも増えてきていることから、日頃よりかかりつけ医ともより緊密な連携に努めていただきたい。
12 苦情解決の取り組み状況	<p>施設内に苦情受付、体制については掲示しており、虐待防止委員会は設置済である。</p> <p>研修は毎月内容が違うが、年間スケジュールにて研修を行っている。</p>	<p>【要望】</p> <p>苦情受付担当者や苦情解決責任者等の情報について、利用者や利用者家族がわかりやすい場所に掲示する等の工夫をしていただきたい。</p>

13 従業者の資格取得状況や実務経験について	<p>・支援スキルの高い管理者を置いているか。</p> <p>（必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入）</p> <p>障害支援は10年の経験、実務者研修、介護福祉士、サービス管理責任者基礎研修終了しております。</p>	<p>【要望】</p> <p>・各種研修の受講や勉強会等の機会を通じて、支援スキルの研鑽に励んでいただきたい。</p>
	<p>・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。</p>	
	<p>・支援スキルの高い従業者を置いているか。</p> <p>（必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入）</p> <p>介護福祉士(常勤)</p> <p>看護師1名（非常勤）</p> <p>介護福祉士1名（非常勤）</p>	
14 その他		